＜No12：水準測量＞

図 12 は，水準点Aから固定点(1)，(2)及び(3)を経由し，水準点Bに至る路線を模式的に示したものである。この路線で公共測量における 1 級水準測量を行い，表 12 に示す観測結果を得た。再測すべき観測区間として最も適切なものはどれか。 次の 1 ～ 5 の中から選べ。

ただし，往復観測値の較差の許容範囲は 2.5㎜√S，S は観測距離（片道，ｋｍ 単位）とする。なお，関数の値が必要な場合は，巻末の関数表を使用すること。

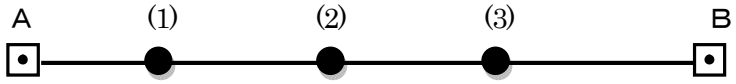


図 12

表 12

観測区間	観測距離	往路の観測高低差	復路の観測高低差
A ～ (1)	400 m	+4.7851 m	−4.7845 m
(1) ～ (2)	600 m	−1.2125 m	+1.2139 m
(2) ～ (3)	500 m	+3.4157 m	−3.4140 m
(3) ～ B	700 m	+0.7118 m	−0.7114 m

1. 観測区間　A ～ (1)
2. 観測区間　(1) ～ (2)
3. 観測区間　(2) ～ (3)
4. 観測区間　(3) ～ B
5. 再測の必要はない

解答